

(様式2)

農業の新しい技術

No. 719(令和元年(2019年)5月)
分類コード 01-14
熊本県農林水産部

褐毛和種種雄牛「第二十二光重」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室
担当者：眞鍋由希

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その結果に基づき優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. ロース芯面積及びばらの厚さに優れた褐毛和種種雄牛「第二十二光重」を選抜した。
血統

父 光重ET (育高1)	祖父 第二光丸(特級22)	— 光武(高58)
	祖母 第五つるくさ(特級1099)	— 第十重川(高65)
母 たまさつき (繁殖20892)	祖父 第五玉波(特級96)	— 玉波(高70)
	祖母 第11さつき(育高249)	— 白岩(高52)

登録番号：繁殖210

生年月日：平成25年11月6日

生産地：宇城市松橋町(浦田伸介)

2. 現場後代検定成績および育種価

枝肉重量は去勢499.5kg、雌488.3kgとなっており、育種価も+19.391kg(評価種雄牛521頭中77位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

ロース芯面積は去勢58.㎢、雌58.3㎢と優れており、育種価も+5.672㎢(評価種雄牛521頭中37位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

SBVは枝肉重量1.11、脂肪交雑1.45、ロース芯面積1.48、バラの厚さ0.55、皮下脂肪のさ1.75と多くの項目について改良効果が大きいと推定される。

SBV(標準化育種価)は、育種価評価値をわかりやすくするために標準化したもの。値が1以上の場合、改良効果が高いことを示す。

3. 特徴

本牛は非常に大型で体型に優れ、性格も温厚であるため、体型や飼いやすさの改良への貢献が期待される。

[具体的データ]

熊本県農林水産部



第二十二光重 (だいにじゅうにみつしげ)

格付け:A-4 枝重:478.2kg
BMS No.:6 ロース:66cm²
ばら 7.8cm 母の父:第十六光重

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース 芯面積 (cm ²)	バラの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	日齢枝肉 重量 (g)
去勢	7	499.5	3.70	58.0	7.9	2.4	664.8
雌	8	488.3	3.50	58.3	7.9	3.1	624.4
全体	15	493.5	3.60	58.1	7.9	2.8	644.6

表2 育種価(BV) (H31.4 評価)

	順位	育種価	(正確度)
枝肉重量	77	19.391	0.87
脂肪交雑 (BMS No.)	50	1.703	0.90
ロース芯面積	37	5.672	0.86
ばらの厚さ	123	0.1769	0.86
皮下脂肪の厚さ	28	-0.809	0.90
日齢枝肉重量	33	1.363	0.89

後代頭数 21頭(フィールド成績を含む)

順位は評価種雄牛 521頭中の順位

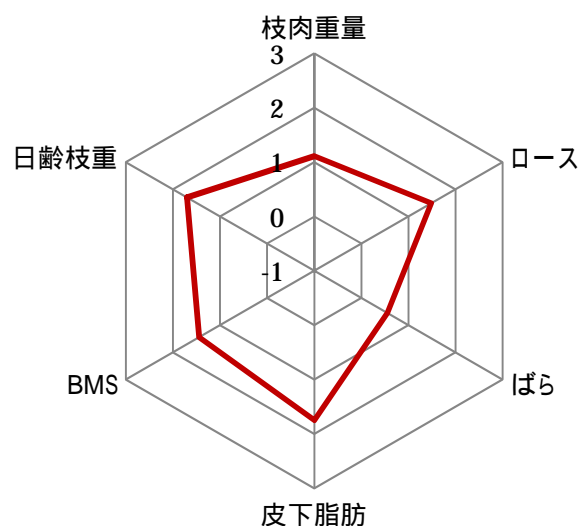


図1 SBV (標準化育種価)
形質ごとに比較でき、わかりやすくするために標準化したもの
皮下脂肪は逆符号